

おしゃべりウッディの修理法（紐が戻らない）

2023.02.09

トミー・マック

1. 外 観

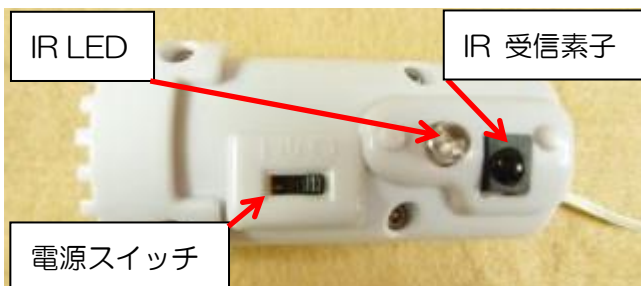
下の特徴から、おもちゃ名をネットで調べましたが分かりません。タグは材質と生産国（CHINA）が書かれているだけ、正規品でないようにおもえます。従っておもちゃ名・製造会社名または販売会社名、製造年は分かりません。



2. 特 徴

姿かたちと英語でおしゃべりするのはウッディそのものですが、本体が円柱状でボタン電池（LR44）を使用、しかも女の子のジェシーと赤外線で会話をします。

電源スイッチは円柱側面の前側に、電池ふたは裏側にあるので、電池交換や電源スイッチの入切り時本体を引っ張り出すことになり、使い辛いです。



3. 故 障

紐を軽く引っ張ってトリガーをかけ、おしゃべりをする仕掛けですが、幼い子が強く引っ張ってバネが干切れ、紐が戻らない故障が多いです。

今回の故障は、この典型的な紐が戻らず、おしゃべりできない故障です。

4. 原 因

分解と修理過程で分かったことは、

- 紐の巻き戻しバネが切れています。 → 強く引っ張り過ぎ。

対応は、

- 残ったバネを利用し、切れた固定部を作り留めます。

おしゃべりウッディの修理法（紐が戻らない）

5. 修理

(1) リングから紐の外し

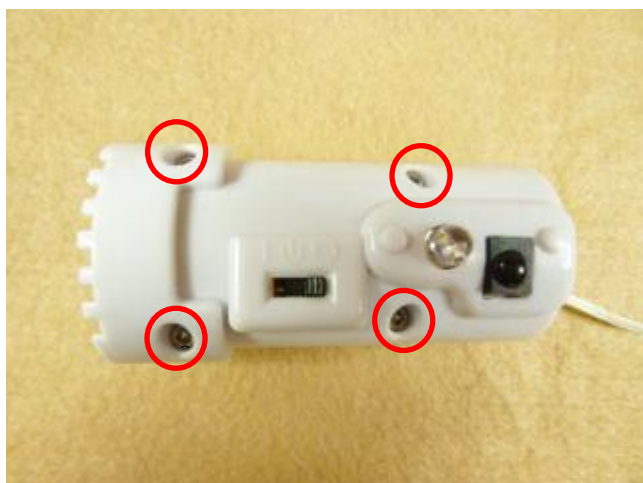
修理作業がし易いように、紐を紐リングから外します。

(2) 本体の引き出し

シャツの裾を広げ、奥から本体を引き出します。

(3) 本体ケースの外し

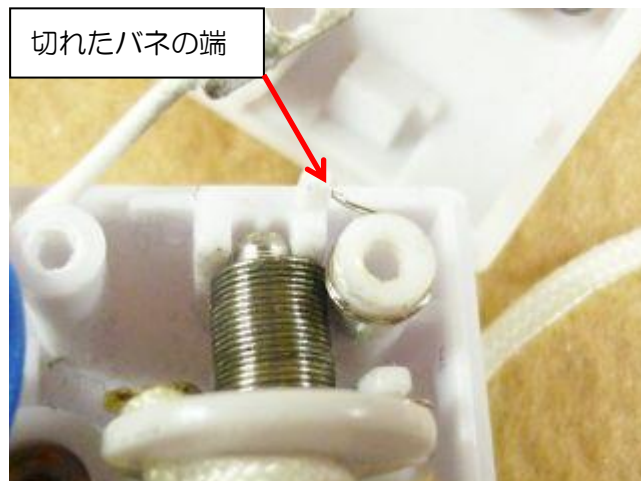
○印のネジ（タッピング 2.3X8）4本を外します。



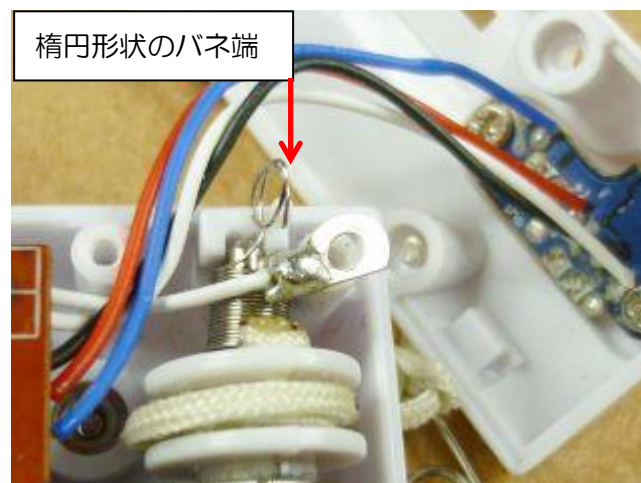
おしゃべりウッディの修理法（紐が戻らない）

（４）故障個所の確認

端子を留めたネジ（タッピング 2.3X8）の傍に切れたバネの端が見えます。



リード線付き端子とネジを外すと切れたバネがあり、紐ドラムと巻き戻しバネを外すと、巻き戻しの構造が分かります。



（５）バネの修理

残っている巻き戻しバネで、リード線付き端子に接するように楕円形状を作り、端子に挟んでネジで留めます。

これで、原因追及と **修理完了**。

おしゃべりウッディの修理法（紐が戻らない）

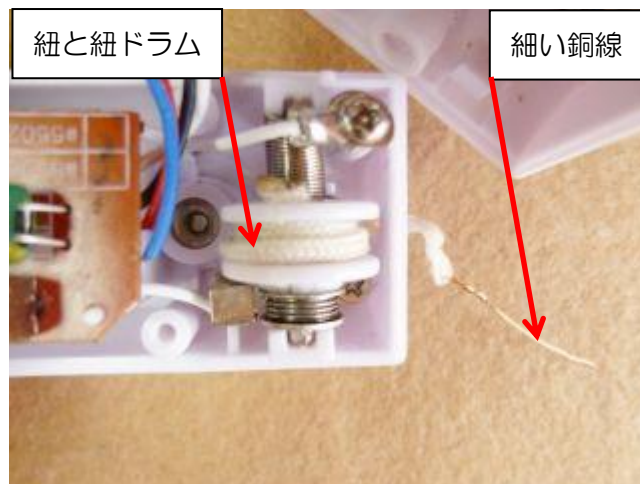
（6）元に戻す

ここまでの過程を戻れば組めますので、詳細の説明を省略し、組み戻して要注意点のみ記載します。

（a）紐の巻き上げ

紐の先端は、紐リングに結んでいた巻き癖があり、シャツやベストの孔を通し難いので、先端に細い銅線やステンレス線を巻き付けます。

緩んでいた紐を紐ドラムに巻き、約2cm本体の外に出します。



（b）本体ケースのネジ留め

本体ケースの上下を合わせ、ネジ（タッピング 2.3X8）4本で留めます。

（c）本体の設置と紐の通し

本体の紐が出るし孔とシャツの引き出し孔を合わせ、本体を押し込み、紐の先端の細い銅線を、シャツの孔とベストの孔に通します。

（d）紐を紐リングに縛り

先端の細い銅線を外し、紐を紐リングに縛ります。

完了

終わり